

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） オランダパビリオンの上棟式を実施

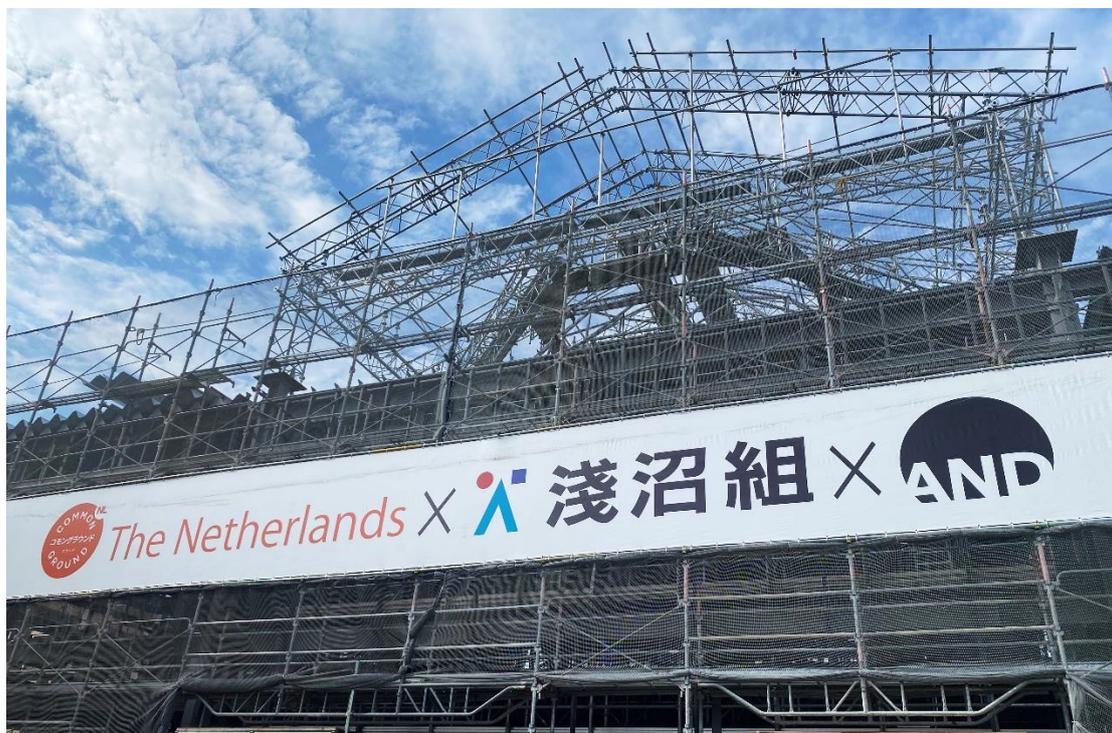
株式会社浅沼組（以下、当社）が施工を担当する2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）のオランダパビリオンが上棟を迎え、2024年9月3日に大阪・関西万博の会場である夢洲にて上棟式を執り行いました。

式典には在大阪オランダ王国総領事のマーク・カウパース氏をはじめとするオランダ王国の関係者と当社の施工関係者がそれぞれの法被をまとって参列し、上棟を祝うとともに今後の無事故・無災害での完成を祈念しました。日本で一般的な神式の儀式に加え、オランダ王国式の上棟の儀式といえる「Pannebier パンネンビアー（※）」を行うなど、日蘭の文化が融合した式はオランダパビリオンのテーマである「コモングラウンド（共創の礎）」を体現したものとなりました。

（※）オランダ王国で建物が最高点に達した際に行う儀式の1つ。本式典では建物中央に位置する球体トラスの上部にリボンや特別な詩で飾られた木を掲げる、伝統的なメイポール掲揚も行いました。（写真右下）



3月の着工から計画通り工事は進捗しており、今後外壁や内部の仕上げ工事に着手する予定です。引き続きパビリオンの完成に向けて品質・安全管理に万全を期して工事を進めてまいります。



■ 建築概要

敷地面積：882.03 平方メートル

建築面積：590.15 平方メートル

延床面積：1,023.65 平方メートル

最高高さ：13.87 メートル

構造：鉄骨造 一部 システムトラス造

階数：2階建

